

Windowsにおけるソフトウェアライセンス

指導教員 坪川 宏 助教授
坪川研究室 99D030 菊池 考之

1 まえがき

近年、学校や企業内において、パソコンをローカルなネットワークに接続して使用することが必要不可欠になっている。

企業で使用するソフトウェアに関してはソフトウェアライセンスが必要なことが多い。例えば、報告書や見積書などでマイクソフト社のワードやエクセルは共通書式として使われていることが多い。

また、システムの管理者のライセンス管理に対するニーズが高まっている中、流通している管理ソフトはクライアントにもソフトの導入が必要となってしまっている。

2 目的

本研究では、Windowsマシンに限定して、サーバ側にソフトを導入する各クライアントのソフトウェア情報を抜き出し、ライセンスを管理する方法について検討し、運用することとする。また、サンプルとして同一ネットワーク内に接続されたマシンのインストール済みのソフトのプロダクトIDと現在起動中のアプリケーションを取得するプログラムを作成し、これらの取得した情報を確認できるようにした。

3 システム構成

システムの構成イメージを以下に示す。

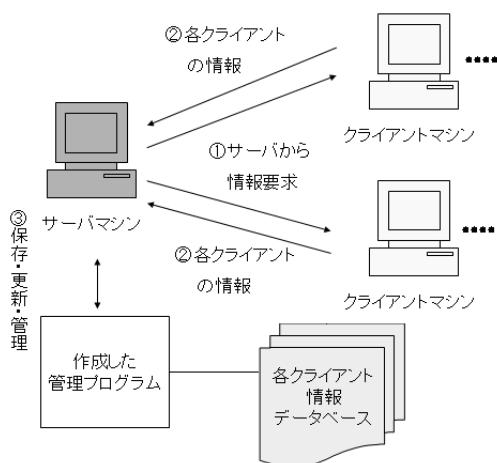


図 1: image.eps

システム情報の取得には WMI を使用して各クライアントの情報を取得する。

本研究のプログラム作成には VisualBasic6.0 を使用した。監視対象としては坪川研究室の PC を利用した。取得したデータは Microsoft 社の Access データベースに保存される。

4 WMIについて

WMI とは Windows Management Instrumentation の略称で Windows2000 から実装された機能である。

これを使用することによりソフトウェア情報やハードウェア情報が取得できる。また、ローカルの PC にも使用できるがリモートコンピュータにも使用できる。今回使用した機能は StdRegProv(レジストリ取得) と Win32Process(起動プロセス取得) を使用した。

5 結果

出力イメージの一例を以下に示す。保存されたデータベースをクエリを使って表示させた。

マシン名	種類	内容
duo3	Microsoft Windows ProductID	52242-000-0007-09379
P-MO	Microsoft Windows ProductID	52242-005-4434-09618
R-AI	Microsoft Windows ProductID	52242-000-0007-09120
SEC-C20	Microsoft Windows ProductID	55380-OEM-11903-00112
T-INKI	Microsoft Windows ProductID	52242-005-9992-09466
Z-	Microsoft Windows ProductID	52258-016-2527-09277

図 2: レジストリ取得結果出力

6 まとめ

今回は既にクライアントにインストールされているソフトの情報を抜き出すプログラムと現在起動しているアプリケーションを取得するプログラムを作成することができた。

作成したプログラムにより各クライアントにソフトを管理プログラムを導入しなくてもサーバからクライアント情報を取得することができるとわかった。

これからの改善点としてはユーザインターフェースを改善していきたい事と、ワークグループを使用した場合には各クライアントに管理者権限を必要とするので、パスワード管理の機能を追加したい。なお、ドメインを使用した場合はドメイン管理者の ID があれば管理可能である。

参考文献

- WMI Fun!
<http://wmifun.atinfinity.net/>
- MSDN Online
<http://www.microsoft.com/japan/msdn/default.asp>
- vvbvb.com
<http://www.vvbvb.com/jp/index.html>
- VB でデータベース
<http://homepage2.nifty.com/inform/vbdb/>